

太陽・内部太陽圏のモニタリングと予報について

Monitoring and forecasting of the solar and inner heliophere disturbances

秋岡 眞樹 [1]; 長妻 努 [2]; 石橋 弘光 [3]; 久保 勇樹 [4]

Maki Akioka[1]; Tsutomu Nagatsuma[2]; Hiromitsu Ishibashi[3]; Yuki Kubo[4]

[1] 情通機構・電磁波計測; [2] NICT; [3] 通信総研; [4] 情通機構

[1] NICT; [2] NICT; [3] CRL; [4] NICT

情報通信研究機構における宇宙天気分野の研究のうち、太陽及び内部太陽圏のモニタリング観測とその予報への応用について現在進行中のタスクと将来の展望を紹介したい。ACEによるリアルタイムモニターデータを用いたリアルタイムシミュレーションの発展に見られるように、地磁気擾乱の予報技術の発展に比べ太陽や太陽プロトンの予報技術はまだまだ幼稚なものと言わざるを得ない。ただし、有人宇宙飛行の際の太陽プロトン被曝管理等にみられるようにその重要性和優先度は高く、様々なリアルタイムの警報手法の開発にわれわれはとりくんでいる。本稿では特に、

- ・小型衛星を用いた宇宙環境計測技術の開発
- ・STEREO衛星のリアルタイム受信と先行監視
- ・NICT独自の太陽観測
- ・太陽フレア等のリアルタイム検出・通報システム

等について紹介する。さらに、研究開発成果展開の一事例として有人飛行における被曝管理に関するNICTのとりくみについても簡単に紹介する。